



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年1月31日

上場会社名 ホウライ株式会社 上場取引所 東
コード番号 9679 URL <https://www.horai-kk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺本 敏之
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画部長 (氏名) 三野 眞 TEL 03-6810-8117
四半期報告書提出予定日 2024年2月1日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	1,315	2.2	145	△8.1	188	△10.4	130	△22.2
2023年9月期第1四半期	1,287	9.4	158	69.2	210	0.3	167	15.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	93.32	—
2023年9月期第1四半期	120.01	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	18,659	9,156	49.1
2023年9月期	18,853	9,104	48.3

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 9,156百万円 2023年9月期 9,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	0.00	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	0.3	450	△14.7	570	△23.5	390	△24.0	279.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	1,404,000株	2023年9月期	1,404,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	7,901株	2023年9月期	7,901株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	1,396,099株	2023年9月期1Q	1,396,141株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計上の見積りの変更)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、一部に足踏みが見られるものの緩やかに回復し、個人消費は持ち直し、企業収益も総じてみれば改善しました。一方で、世界的な金融引締めや中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなり、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等から、不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。

当第1四半期累計期間の経営成績は、営業収益につきましては、不動産事業、千本松牧場は前年同期を上回りましたが、保険事業、ゴルフ事業は前年同期を下回り、全体では1,315百万円（前年同期比28百万円増）と前年同期比増収となりました。営業総利益につきましては、不動産事業は前年同期を上回りましたが、保険事業、千本松牧場、ゴルフ事業は前年同期を下回り、全体では301百万円（前年同期比14百万円減）と前年同期比減益となりました。一般管理費は156百万円（前年同期比1百万円減）と前年同期を下回り、営業利益は145百万円（前年同期比12百万円減）と前年同期比減益となりました。営業外収益にゴルフ会員権消却益45百万円（前年同期比6百万円減）を計上したことを主因に、経常利益は188百万円（前年同期比21百万円減）、四半期純利益は130百万円（前年同期比37百万円減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

①保険事業

専門分野の強みを活かして、お客様に寄り添ったコンサルティングを推進するとともに、リスクパートナーとしての総合提案力の深化や、継続的な成長を実現し得る組織・体制の強化に努めました。営業収益は、生命保険分野で新たなご契約を数多くいただきましたが、損害保険分野での期日を迎える契約の減少に伴う更改減少を主因として前年同期を下回り、244百万円（前年同期比30百万円減）となりました。営業原価は適正な経費コントロールにより前年同期を下回り、営業総利益は70百万円（前年同期比8百万円減）となりました。

②不動産事業

テナント様・入居者様に「安心安全」かつ「快適」な空間のご提供に努め、所有不動産の入居率はほぼ満室状態で安定的に推移しました。2023年11月に取得したユーレジデンス西大井の賃料収入寄与もあり、営業収益は315百万円（前年同期比13百万円増）となりました。営業原価は物件取得に伴う経費増等を主因に前年同期を上回り、営業総利益は197百万円（前年同期比8百万円増）となりました。

③千本松牧場

各種メディアを通じた牧場プロモーションや団体のお客様の誘致に引き続き注力し、観光施設へのご来場者数は前年同期を上回りました。施設内では、ウォールアートやクリスマスイルミネーション等の季節を感じていただける装飾、手作りチーズケーキ等の自社製品の販売により、ご来場者様に「安心安全」にお楽しみいただける牧場作りに努め、観光施設は前年同期比増収となりました。また2023年12月には、今期の最重要施策であるレストラン・売店棟のリニューアル工事に着手し、営業を継続しつつ、安全を第一に取り組んでおります。外販営業は地元量販店、ギフト商社向けが伸長し、前年同期比増収となりました。酪農は搾乳牛の累計頭数、搾乳量ともに減少しましたが、乳価改定により前年同期比増収となりました。

この結果、営業収益は全体で516百万円（前年同期比50百万円増）となりました。営業原価は変動費の増加や、施設のリニューアルに伴う費用計上等を主因に前年同期比増加し、営業総利益は15百万円（前年同期比1百万円減）となりました。

④ゴルフ事業

各種SNSを活用した積極的な情報発信やプレープランのご案内、首都圏や地元の法人のお客様を中心としたプロモーション、ホウライカントリー倶楽部の乗用カートへのナビゲーション導入、西那須野カントリー倶楽部での市民ゴルフ大会の連続誘致等で、より多くの方にご来場いただけるよう努めました。

また、ご来場いただいた皆様により快適にお過ごしいただけるよう、接遇の向上、食事のお楽しみが増すメニュー開発や食味改善等に引き続き注力するとともに、コースコンディションの夏の猛暑影響からの回復に全力で取り組み、改めて高くご評価いただけるようになりました。

この結果、ご来場者数は前年同期並となり、営業収益は前年同期に開催された国体関連の収益減少を主因に前年同期を下回り、239百万円（前年同期比4百万円減）となりました。営業原価はコース整備機器の更新等を主因に前年同期を上回り、営業総利益は17百万円（前年同期比12百万円減）となりました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,126,955	1,262,759
受取手形及び売掛金	360,657	285,861
商品及び製品	127,290	118,920
仕掛品	7,779	17,266
原材料及び貯蔵品	59,237	72,187
その他	100,323	127,332
貸倒引当金	△53	△126
流動資産合計	3,782,191	1,884,200
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,585,957	4,224,339
土地	8,226,987	9,294,904
その他(純額)	2,013,180	2,019,740
有形固定資産合計	13,826,125	15,538,985
無形固定資産		
投資その他の資産	31,080	29,546
その他	1,237,558	1,229,359
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,214,558	1,206,359
固定資産合計	15,071,764	16,774,890
資産合計	18,853,956	18,659,090
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,505	120,497
未払法人税等	131,215	25,287
短期借入金	—	70,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
引当金	112,090	21,715
その他	787,639	748,309
流動負債合計	1,240,450	1,085,810
固定負債		
長期預り保証金	5,622,916	5,542,915
長期借入金	2,600,000	2,600,000
引当金	106,930	80,171
資産除去債務	99,728	99,969
その他	79,306	93,869
固定負債合計	8,508,881	8,416,925
負債合計	9,749,331	9,502,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	3,977,171	4,023,684
自己株式	△19,452	△19,452
株主資本合計	8,825,320	8,871,834
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	279,303	284,520
評価・換算差額等合計	279,303	284,520
純資産合計	9,104,624	9,156,354
負債純資産合計	18,853,956	18,659,090

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
営業収益	1,287,392	1,315,887
営業原価	971,416	1,014,379
営業総利益	315,975	301,507
一般管理費	157,610	156,047
営業利益	158,365	145,460
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	6,993	5,794
会員権消却益	51,550	45,525
その他	4,873	4,629
営業外収益合計	63,421	55,952
営業外費用		
支払利息	7,532	7,277
乳牛除売却損	3,081	5,551
その他	1,041	298
営業外費用合計	11,655	13,128
経常利益	210,131	188,285
特別利益		
固定資産売却益	12,191	56
特別利益合計	12,191	56
特別損失		
固定資産除売却損	158	15,047
特別損失合計	158	15,047
税引前四半期純利益	222,164	173,294
法人税、住民税及び事業税	33,348	14,366
法人税等調整額	21,265	28,648
法人税等合計	54,614	43,015
四半期純利益	167,549	130,279

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当第1四半期会計期間において、千本松牧場のレストラン・売店棟のリニューアル計画を決定したことに伴い、新施設完成後に利用を終える固定資産の耐用年数を残存使用見込期間まで短縮しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ2,645千円減少しております。